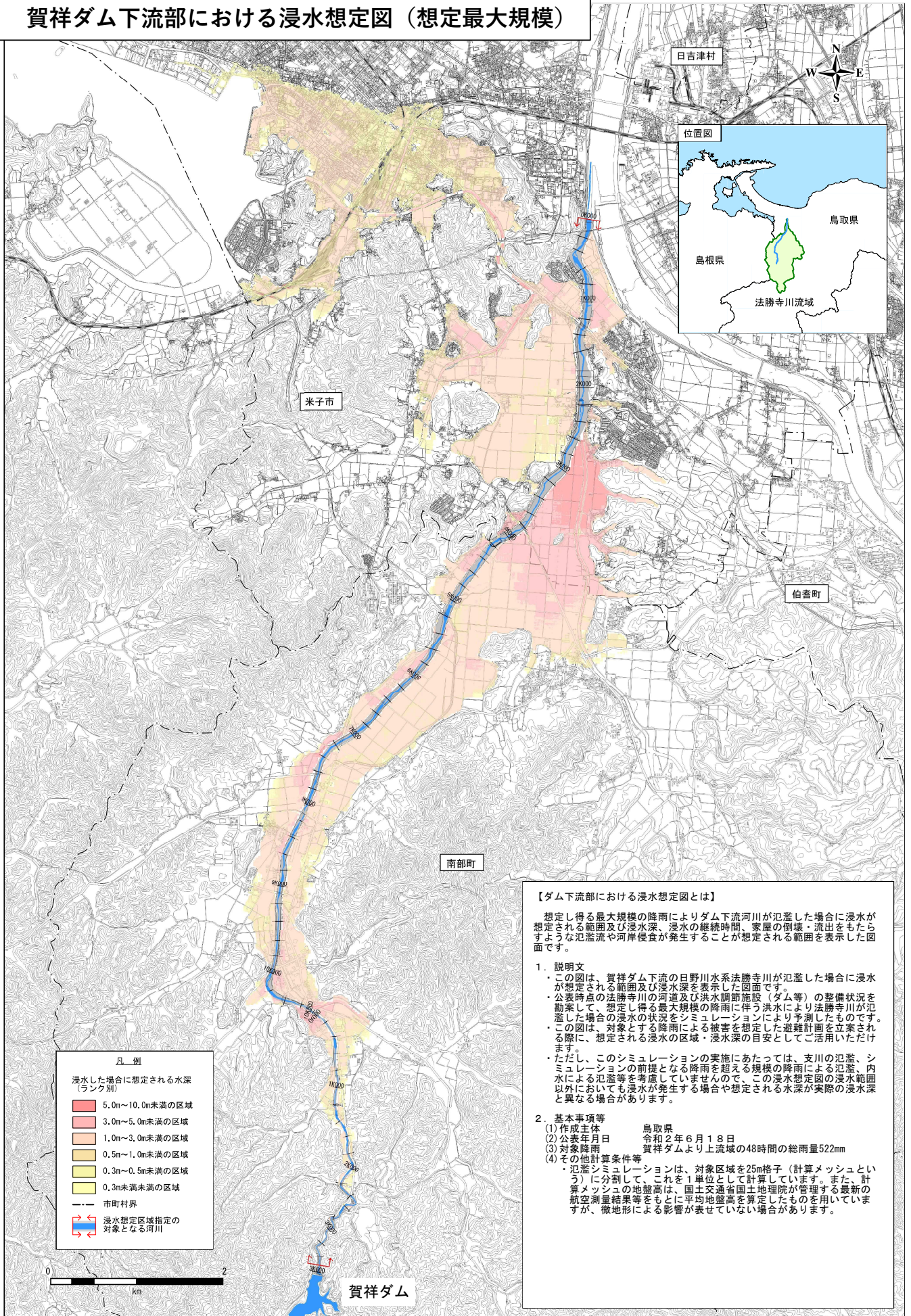


賀祥ダム下流部における浸水想定図（想定最大規模）



【ダム下流部における浸水想定図とは】

想定し得る最大規模の降雨によりダム下流河川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び浸水深、浸水の継続時間、家屋の倒壊・流出をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される範囲を表示した図面です。

- 1. 説明文**
 - この図は、賀祥ダム下流の日野川水系法勝寺川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び浸水深を表示した図面です。
 - 公表時点の法勝寺川の河道及び洪水調節施設（ダム等）の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により法勝寺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - この図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用いただけます。
 - ただし、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定図の浸水範囲以外においても浸水が発生する場合があります。
- 2. 基本事項等**
 - (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 公表年月日 令和2年6月18日
 - (3) 対象降雨 賀祥ダムより上流域の48時間の総雨量522mm
 - (4) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。